



モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト
を紹介します。

安全への信頼に応える

VOL.
48

マイクロフィルター株式会社
品質保証グループ・柴田 浩典さん

命と安全を守るフィルター

昭和38年の設立以来、鉄道向けに金属製のフィルターを製造しているマイクロフィルター。このフィルターによって、ブレイキやドア開閉時の動力となる圧縮空気への異物混入を防止、誤作動などを防止している。現在は、化学工場などで有害なガスを検知するガス検知警報器に組み込まれる金属フィルターも製造しており、国内トップレベルのシェアを誇っている。「人の命や安全を守る重要な製品を作っているという責任感がある」と検査担当の柴田さんは話す。

安定した品質のために

原料となる金属の細かい粒を押し固め、熱を加えて粒と粒の接地面だけを溶かすことで、小さいものでは直径千分の一の穴が無数にできる。長年にわたり積み重ねてきた技術によって、異物の除去や爆発の防止、消音などさまざまな用途で使用されるフィルターが作られている。

製造工程の中でも、高い品質を保証する上で重要な

のが検査工程。顧客からの要望は多岐にわたるため、検査規格を適切に管理することが求められる。寸法・密度・強度・通気などに加え、過去のデータも参照しながら製品の合否判定を行い、それを緻密に実施することが高い品質を保つことにつながる。柴田さんは「規格を厳密に守ることとはもちろん、万が一不具合があった場合、ここで絶対に関わる事故が起きれば人命に関わる重大事故が起きてしまう」という意識で検査を行っている」と語る。

使命感をもったモノ作り

60年間かけて培ってきた技術によって生み出される安定した品質は、顧客から厚い信頼を得ている。今後、AI（人工知能）の発達など、製造現場も変化が予想される中、「安全への信頼に応えるため、品質を最優先にする姿勢は変わらない」と柴田さん。使命感をもったモノづくりへの挑戦はこれからも続いていく。

マイクロフィルター株式会社

豊川工場: 森5丁目85

1963年設立。鉄道・工業用の金属フィルター製造メーカー。豊川工場は1972年操業開始。鉄道用およびガス検知警報器用のフィルターは、国内トップレベルのシェアを誇る。



1 金属の粒を押し固めて作られたフィルター。用途によりさまざまな形状がある
2 真空状態の中で、原料となる金属の粒に熱を加える装置
3 3D(立体画像)で計測できる機器を活用した検査も行っている